

1. 単元名 「119期ハッピープロジェクト～自分発見!～」

(A 主に自分に関する内容)

2. 研究主題との関連

未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

(1) 単元について

子どもたちは、1学期にC領域「主に広く社会や環境にアプローチする内容」として、「かがやくダッシュ村をつくりあげよう」という単元を行ってきた。本校敷地内に広がる「ダッシュ村」で、5年生としてどんなことをしたいかと考え、苗植え、収穫などを実際に行う中で、協力することの大切や、人間の思い通りにいかない自然の難しさなどを体験した。また、B領域「主に集団や人間関係に関する内容」として、2学期には「119期ハッピープロジェクト～遊びを通してもっと仲を深めよう～」という単元において、6年生からバトンを引き継いで、今後リーダーシップをとっていく5年生が「高学年としてどのような行動ができるのか」「様々な学年の立場になって考えるにはどうすればよいのか」などについて探求的に学習を進めてきた。

これらをふまえ、A領域「主に自分に関する内容」として、「119期ハッピープロジェクト～自分発見!～」を行う。C領域「ダッシュ村」の単元で「人間の思い通りにいかない自然」、B領域「119期ハッピープロジェクト～遊びを通してもっと仲を深めよう～」の単元で「自分の思い通りにいかない集団」について触れる中で、「自分が考えること」が必ずしも「他が考えること」や「自然の流れ」とは同じではないことを実感することができた。しかし、「自分が考えること」と「自分が行うこと」の間にもずれがあることも子どもたちは日々実感し、「自分のことを必ずしも自分自身が分かっている」ことを感じる場面があろう。この「自分が知らなかった自分」について、「自己紹介」の取り組みを行う中で出会い、この過程を通じて自分自身を成長させていくことが本単元の目標である。

「自己紹介」については、子どもたちは折りに触れ「自分」について学級全体や友だちに紹介する機会をこれまでも持っている。それらは「好きなもの」や「得意なもの」などのように周囲の人たちにとって比較的把握しやすいものにとどまっていることが多いと考えられる。しかし、「自己紹介」の意義を「他者理解」の視点から考えたとき、「自分について是非ともこの部分を知ってもらいたい」「みんなにはここだけはわかってもらってほしい」など他者から、あるいは集団の中で「承認」されているという思いではないだろうか。この集団における「承認」こそが子どもたちの自己肯定感や安心感へとつながるものであると推察される。ただ、小学生という発達段階において、「自分について是非ともこの部分を知ってもらいたい」という部分を意識化、言語化するのは難しいと考えられる。

そこで、本単元では、「自己紹介」の視点を増やす方法について学級で考え、「〇〇さんブック」のような形でその人を紹介する情報を思いつく限りまとめていく。その後、その人について集まった情報から、「どんなことを伝えることが、その人のことを紹介することになるのか」についてグループで考えていく。この視点を踏まえて学級で、「紹介する人」と「紹介される人」がペアになって、他の人たちに紹介することで、他者理解を深める中で、「自分にはこんな一面があったのか」「自分はみんなからこのように見えているんだ」という気づきへとつながっていくようにしたいと考える。

(2) 5年未来そうぞう科年間カリキュラム

	学習タイトル	主な内容	その他との関連
4月	C: かがやくダッシュ村をつくりあげよう	・自分たちが思い描く「ダッシュ村」を作り上げるために、どうすればよいかを考え、そのための活動を行う。	理科（植物の発芽と成長の学習をダッシュ村での栽培活動に生かす。）
5月	B: セルフバリュープログラム A: 自分のくらしといるんなくらし	・遊びを通して自分の心の動きと向き合う。 ・沖縄と大阪の気候とくらしを比較し、ちがいに触れる。 ・田植えを行う。	社会（沖縄と大阪の気候とくらしを比較し、その違いについて考える。食料生産の学習で学んだことをふまえて、自分たちも米作りに挑戦する。）
6月	B: 臨海学舎にむけて（学級・学年づくり）	・みんなが楽しめるレクリエーションを考える。	
7月			
8月			
9月	B: 友だち班そうじ B: 友だち班運動会	・友だち班そうじの司会、進行をする。 ・運動会の全校競技を友だち班で練習、実施する。	
10月	B: 119期ハッピープロジェクト～遊びを通してもっと仲を深めよう～ A: いろんな生き方	・お別れ遠足に向けて遊びを企画し、他学年との交流を通して企画をよりよいものにしていく。 ・企業の社長さんの生き方について話を聞く。	道徳（読み物資料を読んで、学校のよさを引き継いでいこうとする意識を高める。） 社会（日本の工業生産の様子）
11月	A: 119期ハッピープロジェクト～自分発見～	・「自分が知らなかった自分」に出会うために「自分発見」の取り組みを行う。	
12月			
1月	A: いろんな生き方（プログラミング）	ロボット工学研究者の生き方について話を聞き、ロボットを動かすプログラミングに挑戦する。	理科（ロボットのプログラミングにおいて電磁石の性質の学習を生かし、生活に役立つロボットを考える。）
2月	B: お別れ遠足	お別れ遠足で、6年生へのサプライズ企画を実行する。	道徳（読み物教材を通して、友だちの特徴を知り、それを伸ばしていこうとする意欲を高められるようにする。）
3月	A, B, Cのまとめ	1年間のまとめとして、1年間取り組みんだことをまとめて発表する。	

(3) 単元の目標

主体的実践力	協働的実践力	創造的実践力
「自己紹介」の活動を行う中で、積極的に自分が知らなかった自分を発見することができる。	友だちと一緒に活動する中で、お互いの「知らなかった部分」を発見することができる。	自分自身を多角的、多面的に見つめることで、自分についてこれまでになかった発想で見つめ、その気づきをより深めることができる。

(4) 活動構成の仮説

○「他者」への関心を深めることによる「自己発見」へのつながり

「自己紹介」の視点をできる限り増やし、その視点をもとに自分を見つめなおすことにより、これまでに見えなかった自分について意識し、「自分発見」へとつながっていくと考えられる。この「自己発見」の視点を深めるために、友だちからの様々な質問をインタビュー形式で受けることにより、自分だけでは考えることのできなかつた視点で、自分を見つめる機会となるであろう。また、「自分について是非ともこの部分を知ってもらいたい」という面について注目し、それらを意識化、言語化することで集団の中でのお互いの「自己発見」となると考えられる。

3. 指導計画 (全 20 時間)

学習の選	学習活動と問題意識	子どもの意識	指導者の役割	主体的実践力	協働的実践力	創造的実践力
現状把握的 想像	1. 「自己紹介カード」を書く。【1 時間】 ・「自分」について人に紹介したいことを書く。 2. 自己紹介できることを増やすにはどうすればよいか。【3 時間】 ・「自己紹介」の視点を増やす。 ・たくさん人の視点で「自己紹介」について考える。 ・「自己紹介」を考えながら、「自分発見」につなげていく。 3. 「〇〇さん紹介」の活動をしよう。 【4 時間】 ・グループで協力して、「〇〇さん紹介」の内容を考えて、発表する。	「自分の好きなこと」などを紹介すればよいかな。 もつと好きなことや得意なことを増やせばいいかな。 自分にもわからな い自分の特徴があるのかな。 自己紹介をする というの は難しいな。 「知らなかった自分」を見つけるにはどのような方法があるのかな。 〇〇さんは～～と いうところが良いと ころだと思います。 もつと〇〇さんのこと を知ることが大事だね と 思っています。 これまでにした経験とか、苦手なことか 色々なことが考えられるね。 前のときには思いつ けなかった視点で考 えられたね。 やはり相手のことを 知ることがその 人の「〇〇さん紹 介」につながるね。 前回のときには、見 つけられなかった良 いところを見つけた ね。 一回目のときには、 見つけられなかった 「自己紹介カード」 の完成させよう。 自分が知らな かった自分を見つ けられた気がす るね。 これからも「自分 発見」が見つけら れるかもしれない ね。	○「自己紹介カード」を書く中で、「自分の成長」について考えることができるようにする。 ○何のための「自己紹介」なのか、「自己紹介」をするのとどんなメリットがあるのかについて考えることができるようにする。 ○本人が気が付かなかった「自分」を見つけれられるようにアドバイスをする。 ○今までネガティブに捉えてきたことも、その人の「もちあじ」だと認識できるようにする。 ○これまで考えてきたことを意識してその人の「もちあじ」を見つけていくことができるようにする。 ○一回目の「自己紹介カード」に見られなかった記述が二回目の「自己紹介カード」に見られたことが「自分自身の成長」であり「自己発見」となるようにすることに気付けることができるようにする。	「自己紹介」の活動を行う中で、積極的に自分が見えなかった部分を発見することができる。	友だちと一緒に活動する中で、お互いの「知らなかった部分」を発見することができる。	・自分自身を多角的、多面的に見つめることで、自分についてこれまでになかった発想で見つめ、その気づきをよがり深めることができる。
現状把握的 想像	4. 自己紹介の意義や方法を考えよう。 【6 時間 本時①/6】 ・自己紹介の視点をさらに増やす。 ・一回目の視点をふまえて「自分発見」について考える。 ・これまでの「自分発見」をして良かったことなどを考える。	これまでにした経験とか、苦手なことか 色々なことが考えられるね。 前のときには思いつ けなかった視点で考 えられたね。 やはり相手のことを 知ることがその 人の「〇〇さん紹 介」につながるね。 前回のときには、見 つけられなかった良 いところを見つけた ね。	○今までネガティブに捉えてきたことも、その人の「もちあじ」だと認識できるようにする。 ○これまで考えてきたことを意識してその人の「もちあじ」を見つけていくことができるようにする。 ○改善点を意識して活動できるようにする。	・「知らなかった自分」を見つけていく方法や「自己紹介」の意義を積極的に考えようとしている。	・友だちからの意見をふまえて、「もちあじ」について改めて考えている。 ・「自己紹介」の意義をふまえて、これまでになかった様々な視点でその人の「もちあじ」を見つけている。	・「自己紹介」の意義をふまえて、これまでになかった様々な視点でその人の「もちあじ」を見つけている。
検証的 想像	5. もう一度「〇〇さん紹介」の活動をしよう。 【4 時間 本時②/4】 ・一回目の活動をふまえて、グループで協力して、「〇〇さん紹介」の内容を考えて、発表する。	これまでにした経験とか、苦手なことか 色々なことが考えられるね。 前のときには思いつ けなかった視点で考 えられたね。 やはり相手のことを 知ることがその 人の「〇〇さん紹 介」につながるね。 前回のときには、見 つけられなかった良 いところを見つけた ね。	○一回目の「自己紹介カード」に見られなかった記述が二回目の「自己紹介カード」に見られたことが「自分自身の成長」であり「自己発見」となるようにすることに気付けることができるようにする。	・二枚の自己紹介カードから、自分の成長についで気づくことができるようにする。	・友だちとの話し合いをふまえて、二枚の自己紹介カードの変化から自分の成長に気づくことができるようにする。	・二枚の自己紹介カードから、自分の成長だけだけでなく、様々な気づきを得ることができるようにする。
発展提案的 創造	6. もう一度「自己紹介カード」を書こう。 【1 時間】 ・これまでの活動をふまえてもう一度「自己紹介カード」を書く。	一回目のときには、見つけられなかった「自己紹介カード」の完成させよう。 自分が知らな かった自分を見つ けられた気がす るね。	○一回目の「自己紹介カード」に見られなかった記述が二回目の「自己紹介カード」に見られたことが「自分自身の成長」であり「自己発見」となるようにすることに気付けることができるようにする。	・二枚の自己紹介カードから、自分の成長についで気づくことができるようにする。	・友だちとの話し合いをふまえて、二枚の自己紹介カードの変化から自分の成長に気づくことができるようにする。	・二枚の自己紹介カードから、自分の成長だけだけでなく、様々な気づきを得ることができるようにする。
検証的 想像	7. 一回目の「自己紹介カード」と比較し、どんな「自分発見」をできたかについて考える。【1 時間】 ・これまでの活動をふまえてもう一度「自己紹介カード」を書く。	これからも「自分発見」が見つけられるかもしれないね。	○一回目の「自己紹介カード」に見られなかった記述が二回目の「自己紹介カード」に見られたことが「自分自身の成長」であり「自己発見」となるようにすることに気付けることができるようにする。	・二枚の自己紹介カードから、自分の成長についで気づくことができるようにする。	・友だちとの話し合いをふまえて、二枚の自己紹介カードの変化から自分の成長に気づくことができるようにする。	・二枚の自己紹介カードから、自分の成長だけだけでなく、様々な気づきを得ることができるようにする。